

SPEC

HK5カムシャフト(1N/E28) GT303Sツイン アベックスクエストゲート
オリジナル1Nハイス、ワフォー メインインジェクター-800cc/min、F-COIL V
フリックバルブ CGトリプル タイヤ-F 17(26-40-17) R FM3 R(25.50 17)
最大ブースト1.8kgf

トライアルプロジェクト ☎0722-54-9777

トライアル80スーパ

BEST **11"527**

0-201.19m	201.19-432.33m	終速
7"653	3"874	197.80km/h

DRIVER'S VOICE

「最初のトライでバンアウト時にブレーキを踏まずで、あやうく1コーナーの直線でした。それで2回目では「ビビリ」が入ってタイムが落ち、3回目は800回転からスタート回転を覚えてみたんですが結果的にギヤールスピニングが多く逆にロスしてしまいました」

朝見智裕



ノーマルサスでも
目標の11秒台をクリア!

カムを交換エンジンにGT303ツイン
ほとんどノーマルといえるヘッドでも
ブースト1.8kg/cfの限界にトライ!!



カムだけのエンジンに8008ターボを可能にするGT303ツインを大々改造して、チ手を入れている

97CRセロビ
P R O D U C E D
T U N E D T A W E R

難しいFR駆動のスタートは ハイパワー化でシビアさ倍増



カムだけのエンジンに8008ターボを可能にするGT303ツインを大々改造して、チ手を入れている



平岡清樹

「路面温度が高く、タイヤのグリップも良かったんですけどギヤールスピニングを減えられなかったのが悔しいです。2回目はとて、3回目ではスタートを8000回転に落とす本日のベスト。これで3連からブーストが2kg/cf以上上がってくれば最高だったんですけど……」

DRIVER'S VOICE

272度のカムを組み込んだエンジンに
T88タービンピッキングシングルをポルトオン
履下ノーマルでブースト2.4kg/cfは驚異的!



フィースト ☎089-985-0504

フィースト80スーパ

BEST **11"812**

0-201.19m	201.19-432.33m	終速
7"911	3"901	208.63km/h



SPEC

HK5カムシャフト(1N28/E28) 3.6mmピッチバケット T88-34Dタービン
トラスT88タービン、タイプDクエストゲート オリジナル1Nハイス、ワフォー、メ
インインジェクター-800cc/min、F-COIL V 直噴インジェクター-1000mm×8
レピックアルス28mm×1°C CGトリプル タフ輸出組1、ハーディクアラサロシ
ンシPL タイヤ-R E7(8mm) FM3 R(25.50 17) R85-40-17 最大ブースト2.4kg/cf
MAX73mm

「結合を1〜4のブーストがスケッ
トに注連比較をとし、0.6kg/cf
の少し高めのカムを組み込んだだけのエ
ンジンでありながら、2〜4kg/cfの
で高めのブースト設定という
のだが、これで壊れぬのが不思議な
フィースト174、2JZ-174GTは、そ
れでもかなり強いと評判だが、そ
れでもやはりブーストを高めてい
るエンジンではない」

今回のスタートで、4のブース
トに落ち、ハイギヤールスピニングを
減らすという、あの逆効果にもなる。3
回目は、カムだけのエンジンに8008ター
ボを可能にするGT303ツインを大々改
造して、チ手を入れている

高回転で伸びが良かったという、結果
コンパイルがいい状態だっただけ
に物やまらぬ結果だ。

全開サーキット

RUN!

番外編

CRの若手
チャンピオンが
トライアル練習走行会に盛り込み!

1人2本勝負、3人で挑む

セントラルで勝負だ

団体タイム6本勝負!!

松村ロードスター(トライアル)



スポーツインヴェンション性能を誇る松村さん。2年ぶりにCRの練習走行会に盛り込み、1本目は計測のトライアルのため、新車に試す。2本目は、結果が3月まで定まるので可成りたがいに決意。

Team-トライアル 松村 (NASC vs NABC) マル正 (Teamカーロード)

1本目 (自分のマシン)	計測できず	引き分け	2分00秒150	ロードスター 対決
2本目 (相手のマシン)	1分54秒938	X ○	1分52秒923	

長村 (AE86 vs AE86) マサヤ

1本目 (自分のマシン)	1分52秒378	○ X	1分54秒969	ハチロク 対決
2本目 (相手のマシン)	1分50秒121	○ X	1分52秒294	

藤原 (NABC vs EF9) 長次

1本目 (自分のマシン)	2分02秒919	X ○	1分54秒341	対初 決者
2本目 (自分のマシン)	2分01秒932	X ○	1分54秒201	



車が欲しいので、1700ccのエンジンを付けて、その軽さぶりを発揮! しかも1コーナーのウインドシールドにハマること1回、スピンすること数え切れず。

マサヤAE86 (CR)



この日のために練習なんかやったので、せっせとハチロクを走らせてあげたにマサヤが、練習車場のクルクルとあって、最終コーナーでもタイヤが滑りだりしました。

長次シビック (CR)



サーキット練習、愛車のクラッシュを恐れて、本戦「Eクラス」アップ計画、で製作中のシビックを走らしたんだが、練習の、1コーナーで滑りだりしました。



CRマサヤのハチロクでアタックし6人ハイトップタイムを取った長村さん。2年ぶりにサーキットで走っているハチロクを再び試すことへの参加なのだ。



サーキット練習というサーキット初心者、ロードスターをスピンさせたのは基本的にはサーキットにスタビリティのコントロールを覚悟するなど、ソバは抜けてます!

♡ ラッキー ♡

3勝2敗1引き分けて
勝っちゃったぜイ!!

勝利者の声...

や、やバ、社長に誇られる~



長次 2勝0敗!

オレって天才?
プロを目指さうか?



マル正
1勝1分け!



ラッキー、ラッキー
僕が優勝したもんや~



本番モン!
出番して欲しい!!

く、くやしいやケ~

マサヤ 0勝2敗!

「1本の始まりは、CRの練習走行のマル正がトライアルを取ったことじつからだった。」
「少減、セントラルでラテック練習走行会をするんやけど、勝負させへんか?」(牧原社長)
「やったあ、ラテック走れるもチロコ(ロードスター)。(マル正)」
「負けた方が、勝つ方に勝敗をオ「あんやない」(牧原社長)」
「(マル正)」
「(マル正)は人数いしし」(牧原社長)」
「(マル正)」
練習走行で思い通り、真ん中のもつかり、回り来てマル正じゃこた。実は、雑誌の裏面なんて仕事をしそくせし、編集局内にまとも

なクルマに乗っているヤツが居ないからなのだ、しかも、みんな偉いドラテックの持ちこたはったし、それでも向こうが用意したのが、ロードスターとシビックとハチロクの計3台。しかも、そのうち2台はナンバーなしというオンボロぶりを見舞い。さすがに、これには牧原社長もあきれ返り、結局、この3台は同等程度のマシン同士で団体戦をなうことになった。

結果は、天候、雨、路面、ウエットとというコンディションの中、スピンの数でも圧倒して、マル正のCRハイトップ走行会がラッキーな勝利を手に入れたのである。合掌(社長、「コチンサーマー」。